

基準範囲と測定方法 (生化学・免疫血清学検査)

2020.03.02 現在

生化学検査						
項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準値範囲の設定根拠	測定機器
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	13~30	U/L	JSCC標準化対応法	JCCLS 共用基準範囲	東芝 TBA c-16000
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ	M 10~42 F 7~23				
LD	乳酸脱水素酵素	124~222				
ALP	アルカリフォスファターゼ	106~322				
γ-GT	γ-グルタミルトランスペプチダーゼ	M 13~64 F 9~32	IU/L	L-ロイシン-P-ニトロアミド基質法	添付文書	
LAP	ロイシンアミノペプチターゼ	30~70				
ChE	コリンエステラーゼ	M 240~486 F 201~421	U/L	JSCC標準化対応 (p-nitroトキベンゾイルコリンを基質とする方法)	JCCLS 共用基準範囲	
CK	クレアチンフォスフォキナーゼ	M 59~248 F 41~153		JSCC標準化対応法		
AMY	アミラーゼ	44~132	g/dL	ビウレット法	JCCLS 共用基準範囲	
TP	総蛋白	6.6~8.1				
Alb	アルブミン	4.1~5.1	mg/dL	BCP改良法	JCCLS 共用基準範囲	
T-Bil	総ビリルビン	0.4~1.5				
D-Bil	直接ビリルビン	≤0.2	mg/dL	酵素法	添付文書	
UN	尿素窒素	8~20				
CRE	クレアチニン	M 0.65~1.07 F 0.46~0.74	mg/dL	クレアチニド・GLDH・ICDH・消去法	JCCLS 共用基準範囲	
UA	尿酸	3.1~7.0	mg/dL	ウリカーゼ-POD法	高尿酸血症・痛風の診療ガイドライン第2版 慢性尿酸血症診療ガイドライン ※臨床判断値	
Na	ナトリウム	138~145	mmol/L	イオン選択電極法(希釈法)	JCCLS 共用基準範囲	
K	カリウム	3.6~4.8				
Cl	クロール	101~108				
Ca	カルシウム	8.8~10.1				
Pi	無機リン	2.7~4.6	mg/dL	酵素法	添付文書	
Fe	鉄	40~188	μg/dL	直接比色法(ニトロソPSAP)		
UIBC	不飽和鉄結合能	M 111~255 F 137~325	μg/dL	ニトロソPSAP法	添付文書	
Zn	亜鉛	≥80	μg/dL	直接比色反応		
Mg	マグネシウム	1.5~2.0	mEq/L	改良MTB法	Dimension EXL 200	
T-Chol	総コレステロール	142~219	mg/dL	コレステロール酸化酵素法	動脈硬化疾患予防ガイドライン 2017年版 ※臨床判断値	
TG	トリグリセリド	M 40~149 F 30~149	mg/dL	JSCC標準化対応(HEGTEF)		
HDL-C	HDL-コレステロール	M 40~90 F 40~103	mg/dL	阻害法(直接法)		
LDL-C	LDL-コレステロール	65~139	mg/dL	酵素法(直接法)	添付文書	
TBA	総胆汁酸	≤10	μmol/L	酵素法		
NH ₃	アンモニア	12~66	μg/dL	酵素法(NADS-G6P-DH)	添付文書	
LACTATE	乳酸	0.4~2.0	mmol/L	改良Marbach-Weil法	Dimension EXL 200	
KL-6	シアル化糖鎖抗原KL-6	≤401.2	U/mL	ラテックス比濁法	添付文書	東芝 TBA c-16000
CRP	C反応性蛋白	≤0.3	mg/dL	ラテックス比濁法	添付文書	
IgG	免疫グロブリンG	861~1747				
IgA	免疫グロブリンA	93~393				
IgM	免疫グロブリンM	M 33~183 F 50~269				
C3	C3	73~138				
C4	C4	11~31				
Tf	トランスフェリン	190~320	ng/mL	ラテックス比濁法	添付文書	
Ft	フェリチン	M 50~200 F 12~60				
β ₂ m	β ₂ マイクログロブリン	≤2.00	μg/mL	ラテックス比濁法	添付文書	
PreALB	プレアルブミン	M 23~42 F 22~34	mg/dL	免疫比濁法(TIA)	添付文書	
RBP	レチノール結合タンパク	M 2.7~6.0 F 1.9~4.6	mg/dL	ラテックス比濁法		

血糖関連検査						
項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準値範囲の設定根拠	測定機器
Glu	血糖	73~109	mg/dL	GOD固定化酵素電極法	JCCLS 共用基準範囲	GA08 II (アットウィル)
Glu (朝間外検査)	グルコース			HK-G-8-PDH法		東芝 TBA c-16000
HbA1c	ヘモグロビンA1c	4.9~8.0	%	HPLC法	添付文書	HLC-723G8(東ソー)
インスリン	インスリン	空腹時 5~10	μU/mL	化学発光免疫測定法(CLIA)		アーキテクト
C-PEP	C-ペプチド(血清) C-ペプチド(尿)	0.8~2.5 22.8~155.2	ng/mL μg/day	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)		cobas e411(Roche)
GA	グリコアルブミン	11~16	%	酵素法		東芝 TBA c-16000

蛋白分画						
項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準値範囲の設定根拠	測定機器
Alb %	アルブミン	55.8~66.1	%	電気泳動法	Sebia社データ	Mini cap (Sebia社)
A1-G-%	α ₁ -グロブリン	2.9~4.9				
A2-G-%	α ₂ -グロブリン	7.1~11.8				
B1-G-%	β ₁ -グロブリン	4.7~7.2				
B2-G-%	β ₂ -グロブリン	3.2~6.5				
G-G-%	γ-グロブリン	11.1~18.8				

項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準値範囲の設定根拠	測定機器
P-AMY	唾液アミラーゼ	32~67	%	免疫阻害法	%報告設定理由なし	東芝 TBA c-16000
S-AMY	唾液腺型 アミラーゼ	29~73				
CK-MB	筋、脳型クレアチンキナーゼ	0.0~3.6	ng/mL	酵素免疫測定法(EIA)		Dimension EXL 200
GTN-I	トロポニンI	0.000~0.056		化学発光免疫測定法(LOCI法)	添付文書	
BNP	ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド	≤18.4	pg/mL	化学発光免疫測定法(GLIA)		アーキテクト

項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準値範囲の設定根拠	測定機器
Cor.1h	クレアチニンクリアランス1時間法	82~152	mL/min	CRE測定原理: 酵素法	臨床検査法提要	東芝 TBA c-16000
Cor.24h	クレアチニンクリアランス24時間法	117~219	L/day		*日本成人体表面積1.73m ² で計算	
ICG	(インドシアニンググリーン試験)					
	停滞率 ICG(R) 15分	0~10	%	アレンの演算表示法		
	消失率 ICG(K)	0.168~0.206				

項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準値範囲の設定根拠	測定機器	
PSA	前立腺特異抗原	≤4.0	ng/mL	化学発光免疫測定法(CLIA)	添付文書	アーキテクト	
CA-125	糖鎖抗原 125	≤35	U/mL				
CA-15-3	糖鎖抗原 15-3	≤40	U/mL				
AFP	α-フェトプロテイン	≤8.8	ng/mL				
CEA	癌胎児性抗原	0~5.0	ng/mL				
CA19-9	糖鎖抗原 19-9	≤37	U/mL				
PIVKA II	PIVKA II	0~40	mAU/mL				
SCC	SCC	≤1.5	ng/mL				
シフラ	シフラ(サイトケラチン18)	≤3.5	ng/mL				臨床検査項目辞典
AFP-L3	AFP-L3分画	≤9.9	%				LBA-EATA法

項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準値範囲の設定根拠	測定機器と試薬			
HBs抗原	B型肝炎ウイルス抗原	≤0.04	IU/mL	化学発光免疫測定法(CLIA)	添付文書	アーキテクト			
HBs抗体	B型肝炎ウイルス抗体	≤9.9	mIU/mL						
HBc抗体	B型肝炎ウイルス抗体	≤0.9	S/CO						
HBe抗原	B型肝炎ウイルス抗体	≤0.9	S/CO						
HBe抗体	B型肝炎ウイルス抗体	≤49.9	%Inhibition						
HCV抗体	C型肝炎ウイルス抗体	≤0.9	S/CO						
HIVAgAb	HIV抗原(p24)/抗体(1+2)	≤0.9	S/CO						
HTLV-I	HTLV-I抗体	≤0.9	S/CO						
HCV-rPCR	HCVリアルタイムPCR	検出せず	Log IU/mL				ポリメラーゼ連鎖反応(PCR)		TaqMan(Roche)
TP-Ab	トレポネーマパリダム抗体定性	-					ラテックス比濁法	添付文書	東芝 TBA c-16000
RPR-CT	梅毒反応(カルジオリピン) 定性	-							
TP-Ab	トレポネーマパリダム抗体定量	<1.00	COI(※カットオフインデックス)						
RPR-CT	梅毒反応(カルジオリピン) 定量	<1.0	RU (※RPR UNITS)						
カンジダ	カンジダ抗原	-		ラテックス凝集反応(LA)		血清カンジダ抗原検出試薬 カンジテック			
βグルカン	β-D-グルカン	≤11.0	pg/mL	比濁時間分析法	添付文書	β-Dグルカン検体前処理液、 グルカテスト			
PGT	プロカルシトニン	≤0.05	ng/mL	LBA-EATA法		μ-TAS wako			

項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準値範囲の設定根拠	測定機器と試薬
FT3	フリートリヨードサイロニン	2.30~4.00	pg/mL	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	添付文書	cobas e601(Roche)
FT4	フリーサイロキシシン	0.90~1.70	ng/dL			
TSH	甲状腺刺激ホルモン	0.50~5.00	μIU/mL			
HTG	サイログロブリン	≤33.7	ng/mL			
A-TG	抗サイログロブリン抗体	≤28	IU/mL			
A-TPO	抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体	≤16	IU/mL			
TRAb	抗TSHレセプター抗体定量	≤2.0	IU/L			

項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準値範囲の設定根拠	測定機器と試薬
PTH-INT	副甲状腺ホルモンIntact-PTH	10~65	pg/mL	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	添付文書	cobas e601(Roche)
カルシトン	カルシトニン	M ≤9.52 F ≤6.40	pg/mL			

項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準値範囲の設定根拠	測定機器と試薬
AOTH	副胃皮質刺激ホルモン	7.2~63.3	pg/mL	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	添付文書	cobas e411/e601
コルチゾール	コルチゾール	AM 7~10時: 6.2~19.4 PM 4~8時: 2.3~12.3	μg/dL			
HGH	ヒト成長ホルモン	M 0~2.47 F 0.13~9.86	ng/mL			

婦人科ホルモン検査						
項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準値範囲の設定根拠	測定機器
LH	ヒト黄体形成ホルモン	※1参照	mIU/mL	電気化学発光免疫測定法 (ECLIA)	添付文書 ※1 男性(2.2~8.4)、女性:正常月経周期卵胞期(1.4~15.0)、排卵期(8.0~100.0)、黄体期(0.5~15.0)、閉経後(11.0~50.0) ※2 男性(1.8~12.0)、女性:正常月経周期卵胞期(3.0~10.0)、排卵期(5.0~24.0)、黄体期(1.3~6.2)、閉経後(26.0~120.0) ※3 男性(4.29~13.69)、女性:閉経前(4.91~28.32)、閉経後(3.12~15.39) ※4 男性(15~35)、女性:正常月経周期卵胞前期(20~85)、卵胞期後期(25~350)、排卵期(50~550)、黄体期(45~300)、閉経後(≦21) ※5 男性(≦0.2)、女性:正常月経周期卵胞期(≦0.3)、排卵期(≦5.7)、黄体期(2.1~24.2)、閉経後(≦0.3)、妊婦:前期(13.0~42.4)、中期(24.3~82.0)、後期(63.5~174.4)	cobas e411(Roche)
FSH	ヒト卵巣刺激ホルモン	※2参照	mIU/mL			
PRL	ヒトプロラクチン	※3参照	ng/mL			
E2	エストラジオール	※4参照	pg/mL			
PROGE	プロゲステロン	※5参照	ng/mL			
HCG	ヒト絨毛性ゴナドトロピン	※6参照	mIU/mL	化学発光免疫測定法(CLIA)	※6 非妊婦者(5未満)	アーキテクト

血中薬物濃度検査						
項目略称	項目名称	有効治療域	単位	測定原理	基準値範囲の設定根拠	測定機器
PHT	フェニトイン	10~20 *1	μg/mL	ラテックス免疫凝集阻害法	添付文書	Dimension EXL 200
PB	フェニバルビタール	15~40 *1				
VPA	バルプロ酸	50~100 *1				
THEO	テオフィリン	10~20 *1				
CBZ	カルバマゼピン	4~12 *				
DX	ジゴキシン	0.9~2.0 *1	ng/mL	酵素免疫測定法(EIA)	添付文書	東芝 TBA c-16000
CSA	シクロスポリン	当院薬剤部に関合せのこと	ng/mL	ラテックス免疫凝集阻害法		
VANC	バンコマイシン	当院感染制御部に関合せのこと	μg/mL			
AGTM	アセトアミノフェン	10~30 *1	μg/mL	酵素加水分解法		
ABK	アルバカシン	当院感染制御部に関合せのこと	μg/mL	ラテックス凝集比濁法		
TEIC	テイコプラニン	当院感染制御部に関合せのこと	μg/mL	化学発光免疫測定法(CLIA)	添付文書	アーキテクト
MTX	メトレキサート	当院薬剤部に関合せのこと	μmol/L	化学発光免疫測定法(CLIA)	添付文書	アーキテクト
TACR	タクロリムス	当院薬剤部に関合せのこと	ng/mL			

*1 個体差有

アレルギー検査						
項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準値範囲の設定根拠	測定機器
IgE定量	特異IgE	≦0.34	UA/mL	蛍光酵素免疫測定法	添付文書	UniCAP250
	総IgE	<170 (7才以上)	IU/mL			

抗核抗体検査						
項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準値範囲の設定根拠	測定機器と試薬
ANA	定性検査	≦159		間接蛍光抗体法	自施設データ	FLUORO HEPANATEST (MSL)
ENA	定量検査					
ds-DNA	抗ds-DNA抗体	≦8.9	U/mL	蛍光酵素免疫測定法	添付文書	UniCAP250
U1RNP	抗U1RNP抗体	≦4.9				
SmDp	抗SmDp抗体	≦6.9				
SS-A	抗SS-A抗体	≦6.9				
SS-B	抗SS-B抗体	≦6.9				
Scl-70s	抗Scl-70s抗体	≦6.9				
Jo-1	抗Jo-1抗体	≦6.9				
MPO-ANCA	ミトコンドリアタンパク質-抗好中球細胞質抗体	≦3.4				
PR3-ANCA	プロテアーゼ3-抗好中球細胞質抗体	≦1.9				

血液ガス検査						
項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準値範囲の設定根拠	測定機器
pH	PH	7.35~7.45		ガラス電極法	日本臨床検査自動化学会推奨	ABL-820
P _{CO2}	炭酸ガス分圧	35~45	Torr(mmHg)			
P _{O2}	酸素分圧	80~100	Torr(mmHg)	クラーク電極法		
HCO ₃ ⁻	重炭酸イオン	22~26	mmol/L	演算法		

2009年3月改訂 目黒サキ子
 2009年6月改訂 目黒サキ子
 2009年10月改訂 本田健次
 2010年10月改訂 羽田良子
 2012年4月改訂 羽根正子
 2010年11月改訂 羽根正子
 2011年7月改訂 羽根正子
 2012年2月改訂 羽根正子
 2014年3月改訂 羽根正子
 2015年6月改訂 佐々木
 2016年1月改訂 佐々木・半沢
 2016年8月改訂 半沢雄助
 2016年10月改訂 半沢雄助
 2017年1月改訂 半沢雄助
 2017年3月改訂 半沢雄助

2017年7月改訂 半沢
 2018年5月改訂 岡崎
 2019年1月改訂 佐々木
 2019年9月改訂 佐々木
 2020年3月改訂 佐々木

基準範囲と測定方法 (尿・一般検査)

尿定性検査						
項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準範囲の設定根拠	測定機器
U-PH	尿pH	5.0~7.5		pH指示薬法	添付文書参照	US-3100Plus
U-GLU	尿糖定性	(-)		酵素法(GOD,POD法)		
U-PRO	尿蛋白定性	(-)~(±)		pH指示薬の蛋白誤差法		
U-BLD	尿潜血反応	(-)		Hbのヘモキシアジーゼ様作用		
U-KET	尿ケトン体定性	(-)		アルカリロアルド法		
U-URO	尿ウロビリノーゲン定性	(±)		アゾカップリング法		
U-NIT	尿亜硝酸塩定性	(-)		グリス法		
U-SG	尿比重	1.005~1.030		化学的比重測定法		
U-LEU	尿白血球検査	(-)		白血球のエステラーゼ活性測定法		
U-BIL	尿ビリルビン定性	(-)		アゾカップリング法		

尿定量						
項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準範囲の設定根拠	測定機器
NA-UQ	尿中ナトリウム	70~250	mmol/日	イオン選択電極法(希釈法)	臨床検査法提要参照	アキュート
K-UQ	尿中カリウム	25~100	mmol/日			
CL-UQ	尿中クロール	70~250	mmol/日			
CA-UQ	尿中カルシウム	0.15~0.29	g/日	アルセナグIII法		
IP-UQ	尿中無機リン	0.5~1.0	g/日	酵素法		
UN-UQ	尿中尿素窒素	5.5~13.0	g/日	ウレアゼ・GLDH・ICDH・消去法		
CREA-UQ	尿中クレアチニン	0.5~1.5	g/日	酵素法		
UA-UQ	尿中尿酸	0.4~1.2	g/日	ウリカゼ-POD法		
GLU-UQ	尿中グルコース	40~60	mg/日	HK-G-6-PDH法		
PRO-UQ	尿中蛋白	20~20	mg/日	ビロロールレッド法		
ALB-UQ	尿中アルブミン	<30	mg/日	免疫比濁法	添付文書参照	
ALB/CREA	尿中アルブミン/クレアチニン補正値(随時尿)	<30	mg/g・Cr		日本糖尿病学会推奨	
AMY-UQ	尿中アミラーゼ	50~500	U/L	JSCO標準化対応法	添付文書参照	
NAG-UQ	N-アセチルグルコサミナーゼ	M 1.9~8.7 F 1.3~4.5	U/日	MPT-NAG法	臨床検査法提要参照	
			U/L			
B2-MG-U	尿中β2ミクログロブリン	11~253	μg/日	ラテックス比濁法		

浸透圧						
項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準範囲の設定根拠	測定機器
Posm	血漿浸透圧	275~290	mOsm/kgH ₂ O	氷点降下法	臨床検査法提要参照	オスモレーション OM-6060
Uosm	尿浸透圧	50~1300				

関節液結晶						
項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準範囲の設定根拠	測定機器
尿酸Na	尿酸Na結晶	-		偏光顕微鏡による複屈折性の確認	臨床検査法提要参照	偏光顕微鏡
ピロリン酸Ca	ピロリン酸Ca結晶	-				

フィッシュバーグ濃縮試験						
項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準範囲の設定根拠	測定機器
SG-1	濃縮試験第一回尿	いずれかの尿で比重が1.025以上		屈折法	臨床検査法提要参照	屈折計
SG-2	濃縮試験第二回尿					
SG-3	濃縮試験第三回尿					

尿沈査						
項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準範囲の設定根拠	測定機器
RBC	赤血球	4個以下/HPF		フローサイトメトリー法	尿沈査検査法2010	UF-1000i
WBC	白血球	4個以下/HPF				
EP	上皮細胞	4個以下/HPF				
CAST	尿管型	通常認めない				
BAG	細菌	4個以下/HPF (-)				

髄液検査						
項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準範囲の設定根拠	測定機器
CSF-Glu	グルコース	50~75	mg/dL	HK-G-6-PDH法	臨床検査法提要	アキュート
CSF-TP	蛋白	10~40	mg/dL	ピロガロールレッド法		
CSF-Cl	クロール	120~125	mmol/L	イオン選択電極法		
Cells	細胞数算定	新生児 ≤ 20 乳児 ≤ 10 幼児以降 ≤ 5	/μL	用手法		

穿刺液検査						
項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準範囲の設定根拠	測定機器
Pro	蛋白	滲出液 ≥ 4.0 漏出液 ≤ 2.5	g/dL	屈折法	臨床検査法提要	屈折計
SG	比重	滲出液 ≥ 1.018 漏出液 ≤ 1.014				

便潜血検査						
項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準範囲の設定根拠	測定機器と試薬
FeImmuno	便潜血免疫法	75	ng/mL	金コロイド比色法	自能設データ	QUICK RUN

虫卵検査						
項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準値範囲の設定根拠	測定機器と試薬
塗抹法	虫卵-塗抹法	-		直接塗抹法	臨床検査法提要	
集卵法	虫卵-集卵法	-		集卵法		

2004年12月 改訂 加藤 裕子 2014年6月 改訂 鈴木律子
2006年 4月 改訂 加藤 裕子 2017年3月 改訂 鈴木律子
2008年 12月 改訂 大矢 みどり 2021年1月 改訂 河合裕美

基準範囲と測定方法 (血液検査)

項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準範囲の設定根拠	測定機器
WBC	白血球数	3.3~8.5	$\times 10^3/\mu\text{L}$	電気抵抗法	JCCLS 共用基準範囲	
RBC	赤血球数	M 4.35~5.55 F 3.86~4.92	$\times 10^3/\mu\text{L}$			
Hb	ヘモグロビン濃度	M 13.7~16.8 F 11.6~14.8	g/dL	比色法		
Ht	ヘマトクリット値	M 40.7~50.1 F 35.1~44.4	%	Ht(%)=RBC \times MCV/10		
MCV	平均赤血球容積	83.6~98.2	fL	RBCヒストグラム		
PLT	血小板数	158~348	$\times 10^3/\mu\text{L}$	電気抵抗法		
MCH	平均赤血球ヘモグロビン量	27.5~33.2	pg	MCH(pg)=Hb/RBC \times 10		
MCHC	平均赤血球ヘモグロビン濃度	31.7~35.3	g/dL	MCHC(g/dL)=Hb/Ht \times 100		
RDW	赤血球分布幅		%	RBCヒストグラム		
MPV	平均血小板容積		fL	PLTヒストグラム		
PCT	血小板クリット値(リサーチ項目)		%		ユニセルDxH800	
PDW	血小板分布幅(リサーチ項目)		%			
Ret	網状赤血球数	7.3~22.3	%	ニューメチレンブルー染色後フローサイトメトリー法		
NE%	好中球比	44~74	%	VCSnフローサイトメトリー法		自施設データ
LY%	リンパ球比	20~50				
MO%	単球比	1~14				
EO%	好酸球比	0~6				
BA%	好塩基球比	0~1				

項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準範囲の設定根拠	測定機器
MG染色	メイグリュウワルドギムザ染色			ロマノフスキー法		的手法
MPO染色	ペルオキシダーゼ染色			DAB法		
EST染色	エステラーゼ二重染色			エステラーゼクロマトグラフプレート二重染色		
PAS染色	パサ染色			パロニトリアニンシッフ法		
ALP染色	アルカリフォスファターゼ染色	陽性指数 M 221~307 F 240~330 陽性率 M 76~94% F 81~87%		ナットルAS-MXフォスフェートシアノウム塩法	朝長法	武蔵化学キット
ACP染色	酸フォスファターゼ染色			ホスフォモノエステラーゼ法		
FE染色	鉄染色			フェロシアン化カリウムと3価鉄結合法		

項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準範囲の設定根拠	測定機器
PT	プロトロンビン時間	70~130	%	凝固時間法 (散乱光検出方式)		CS-5100
APTT	活性化部分トロンボプラスチン時間	26.9~38.1	秒			
FBG	フィブリノーゲン	200~400	mg/dL	合成基質法		CS-5100
ATIII	アンチトロンビンIII	80~130	%			
APL	α 2-プラスミンインヒビター	80~130	%			
PLG	プラスミノゲン	80~130	%			
TAT	トロンビンアンチトロンビンIII複合体	<3.0	ng/mL	CLEIA法		パスファスト
PIC	プラスミン α 2プラスミン α 2マクログロブリン複合体	<0.8				
DD	Dダイマー	1.0以下	$\mu\text{g/mL}$	ラテックス免疫比濁法	添付文書	CS-5100
FDP	フィブリンフィブリノゲン分解産物	5.0以下				
FMC	フィブリンモномер複合体定量	6.1以下				
FII	第II因子活性	70~120	%	凝固時間法 (散乱光検出方式)		CS-5100
FV	第V因子活性	70~120				
FVII	第VII因子活性	70~120				
FVII	第VII因子活性	70~150				
FIX	第IX因子活性	70~120				
FX	第X因子活性	70~120				
FX I	第X I因子活性	70~120				
FX II	第X II因子活性	70~150				
FX III	第X III因子活性	70~140				
PLT-AGG	血小板凝集能検査				凝集法	

項目略称	項目名称	基準範囲	単位	測定原理	基準範囲の設定根拠	測定機器と試薬
BT	出血時間	1~5	分	デューク法	臨床検査法提要	的手法
ESR	赤血球沈降速度 一時間値	M 2~10 F 3~15	mm/hr	改良ウェスターグレン法		テクノメディカ
抵抗試験	赤血球抵抗試験	最大抵抗, 0.34~0.32 最小抵抗, 0.44~0.42	%	Ribiere法(Giffin-Sanford要法)	臨床検査法提要	的手法
骨髄核数	骨髄穿刺液有核細胞数	10~25万	μL	計算板	日野法	計算板法
骨髄巨核数	骨髄穿刺液巨核球数	50~150	μL			

1991年 4月 1日改訂
1998年 4月 1日改訂
2004年12月 改訂
2006年 1月23日改訂

2008年12月 改訂 田中京子
2014年 1月 改訂 田中京子
2016年 9月 改訂 菅野喜久子
2017年 1月 改訂 菅野喜久子
2017年12月 改訂 菅野喜久子
2018年 4月 改訂 菅野喜久子
2018年11月 改訂 菅野喜久子